

第**78**期
事業報告書

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで

**CEMEDINE
REPORT**

証券コード：4999



▼ 当期のポイント

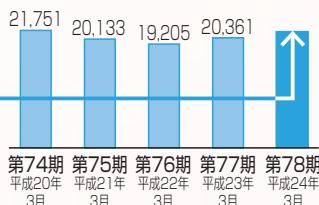
売上高

21,416 百万円

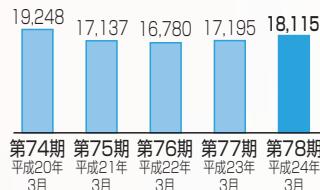
前年同期比

5.2% 増

売上高 (百万円)



総資産 (百万円)



震災からの復旧・復興需要や住宅投資回復による建築土木関連市場の売上増加に加え、セメダインオートモーティブ株式会社の連結子会社化による売上増加により、売上高は前年同期と比べ5.2%の増加となりました。

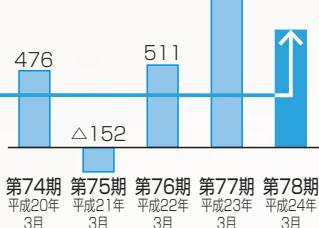
経常利益

727 百万円

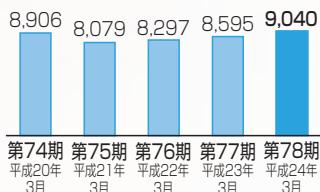
前年同期比

24.2% 減

経常利益 (百万円)



純資産 (百万円)



原油・ナフサ価格高騰の影響を受け材料価格が上昇したほか、当社の本社移転や上海駐在事務所設置などにより販売費及び一般管理費も増加し、経常利益は前年同期と比べ24.2%の減少となりました。

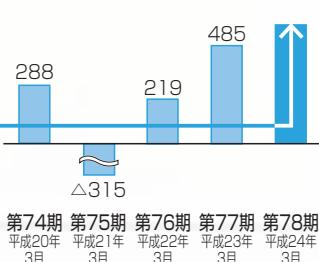
当期純利益

588 百万円

前年同期比

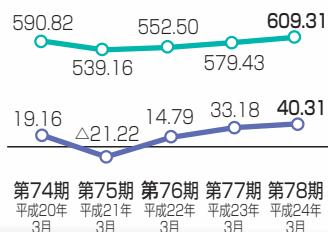
21.2% 増

当期純利益 (百万円)



一株当たり純資産 (円)

一株当たり当期純利益 (円)



セメダインオートモーティブ株式会社の連結子会社化に伴う「段階取得に係る差益」を計上したほか、特別損失の減少により、当期純利益は前年同期と比べ21.2%の増加となりました。

株主の皆様へ

セメダインは、

**“人を大切にし、より良い製品をより多くの
人々に提供することにより社会に貢献する”**

1923年の創業以来変わることのない

この企業理念に基づき活動を続けております。



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

当社第78期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の営業の状況と決算につきましてご報告申し上げます。

利益配当につきましては、1株当たり4円とさせていただきますので、既にお支払しております中間配当金4円と合わせまして当期の年間配当金は、8円となります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

代表取締役社長 荒井 進

QUESTION

当期の事業環境と業績についてお聞かせください。

震災による影響の中、プロダクトミックスの変化から増収に。

当期は、東日本大震災の影響を大きく受けた1年間でした。建築土木関連市場では、被災地の復旧や住宅投資の回復による需要が徐々に表れてきました。その一方、震災後の住宅を補修する職人の人手不足によって、生活者の自主対応が

●トップインタビュー



新市場の開拓と グローバル展開による 成長性を築き上げていきます。

拡がり、一般消費者関連市場では、補修用途品の需要が急拡大したり、反動で急減するといった動きがありました。工業関連市場は、被災地域のサプライチェーン寸断による停滞に続き、円高によるダメージを受けており、現在も低調が続いています。

そうした中で当社は、震災の復旧・復興需要に応えるべく、取引先・仕入先との緊密な連携により、製品の供給責任を果たしてまいりました。その結果、建築土木関連市場の売上が前期比10.1%増加しました。このプロダクトミックスの変化が工業関連市場の低調をカバーする形で、全体の増収につながりました。

事業環境におけるもう一つの影響要素は、原材料費の上昇です。特に、昨年12月以降は原油・ナフサ価格が高騰し、厳しい状況となりました。そのため、利益面については当初想定以上の減益となりました。なお、当期純利益については、後述する合併会社の連結子会社化に伴い、株式の段階取得に係る差益を計上したことで、増益となりました。

QUESTION

今後の事業拡大に向けた動きについてご説明願います。

海外事業の加速と自動車市場の新展開に向けた布石。

当社は「新市場の開拓とグローバル展開」をテーマとする5か年中期経営計画を推進中です。当期はその初年度として、「営業体制を地域別から市場別に再編」「海外事業の本格化に向けた組織作り」「自動車市場向け事業の再構築」「本社移転」という4つの変革を進めました。

海外事業の本格化に向けた取り組みとしては、昨年6月、中国・上海市に駐在事務所を開設しました。当社は従来、台湾・新北市に子会社1社、タイ・バンコク市に関連会社2社を配し、工業関連市場向けに製造販売を展開してきました。上海駐在事務所の開設は、これに続くアジア進出として中国市場に楔を打つべく、市場調査・情報収集等を行うためのものです。今後は現地法人化し、販売業務を開始するべく検討中です。

一方、自動車市場向け事業を再構築すべく、ドイツのHenkel AG & Co.KGaA（ヘンケル社）との合併会社であるセメダインヘンケル株式会社について、昨年12月に株式

を追加取得し、セメダインオートモーティブ株式会社と社名を改めて子会社化しました。これまで同社は、ボディショップ・ペイントショップ向けの自動車関連製品を製造販売していましたが、今後は「HV化」「EV化」という自動車業界の変化の中で、新たな接着剤ニーズを捉えていきます。同社は現在、当社の電子部品向け製品と開発体制を一体化し、これに取り組んでいるところです。

さらに当社は、接着剤へのさまざまな機能付加やアプリケーションの開発・提案により、製品提供型ビジネスモデルから問題解決型ビジネスモデルへの転換を目指しています。具体的には、建築市場の「環境対応」「高耐久」「省エネ」のニーズに応える製品をハウスメーカーと共同開発したり、工業市場向けに「電導性」「耐熱性」などを備えた機能性接着剤を発表するといった取り組みを進めています。問題解決型ビジネスモデルへの転換は、「新市場の開拓とグローバル展開」という成長テーマを担うカギであると考えています。

QUESTION

次期（平成25年3月期）の見通しはいかがですか？

連結子会社による業績寄与を得て、増収増益基調へ。

復興需要の拡大が期待される一方で、電力供給問題や原油・ナフサ価格の高止まりといった懸念要素も多く、先行きは不透明な状況となっています。当社では、引き続き中期経営計画のもと「新市場の開拓とグローバル展開」をテーマとする取り組みを推進し、将来に向けた成長性の確保を目指してまいります。

次期業績については、連結子会社化したセメダインオートモーティブ株式会社による約30億円の売上高が加わり、増収増益（最終利益は当期の反動で減益）を予想しています。



QUESTION

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

チャレンジングな展開にご期待いただき、一層のご支援を。

株主の皆様への利益還元については、事業成長のための内部留保を勘案しつつ、バランスのとれた安定配当の実施を基本方針としています。これに基づき、当期の年間配当は1株当たり8円（中間配当・期末配当各4円）とさせていただきます。

これからの当社は、中国・東南アジアを中心とするグローバル展開を進めつつ、国内4工場とそれらの海外拠点を合わせ、生産体制を「面」で構築していきます。同時に、機能性接着剤の開発・提案等を軸として、問題解決型ビジネスモデルへの転換を果たし、よりチャレンジングな展開を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、当社事業の新たな発展にご期待いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

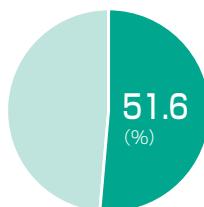
■ 当期の市場別ポイント



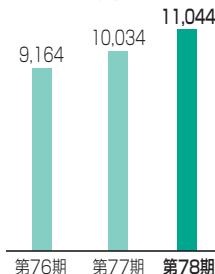
建築土木 関連市場



売上高構成比



売上高 (百万円)



売上高

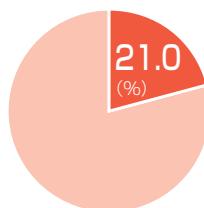
11,044百万円

建築土木関連市場におきましては、復旧需要として接着剤およびシーリング材が仮設住宅の建設や補修用途として多く使用されたほか、住宅投資回復の動きを受けセメダインタイルエースなどの内外装工事用接着剤やセメダインPOSシールなどのシーリング材の売上が増加いたしました。また、サブライチェーンの見直しなどを図る顧客の動きに対応した販売活動を行ったことなどにより、売上高は11,044百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

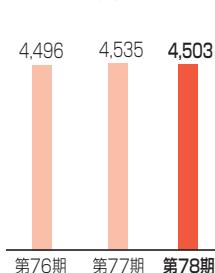
一般消費者 関連市場



売上高構成比



売上高 (百万円)



売上高

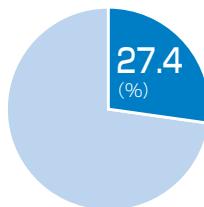
4,503百万円

一般消費者関連市場におきましては、震災により補修用途品の需要がホームセンターなどで一時的に増加したものの、雇用や所得の先行きに不透明感が強い中で低価格偏重指向が続いており、売上高は4,503百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

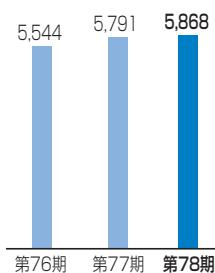
工業 関連市場



売上高構成比



売上高 (百万円)



売上高

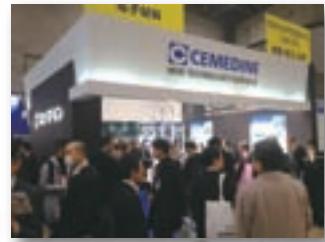
5,868百万円

工業関連市場におきましては、震災後の工業市場全体にわたる生産活動の停滞に加え、円高による海外向け製品の売上減少の影響を受けました。しかしながら、太陽光発電システムの増加による太陽電池向け高機能製品の売上が増加したほか、電子部品向け高機能製品の売上也堅調に推移したことに加え、セメダインオートモーティブ株式会社の連結子会社化による売上増加の影響もあり売上高は5,868百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

TOPICS 1

エレクトロニクス機器展示会 「ネプコンジャパン」出展

2012年1月18日～20日に東京ビッグサイトにて開催されましたアジア最大級のエレクトロニクス機器展示会「ネプコンジャパン」に初出展しました。UV硬化形弾性接着剤や粘着剤などの開発試作品を展示した他、用途拡大を続ける「セメダインスーパーXシリーズ」、多岐にわたる新素材へ対応した「難接着物用接着剤シリーズ」など、主力市場である電機・電子市場向けセメダインを広くPRしました。



TOPICS

トピックス | CEMEDINE 2012

パーフェクトデコと ハローキティのコラボキャンペーン実施

いち早く、女性向けという新たな切り口でマーケットを開拓したデコ電用接着剤「セメダインパーフェクトデコ」とサンリオの人気キャラクター・ハローキティがコラボレーションした消費者キャンペーンを2012年3月から3ヶ月間にわたり実施。接着剤とメジャーキャラクターとのコラボは業界初の試みであり、「セメダインパーフェクトデコ」ならびにセメダインブランドの大きな関心を喚起し、twitterやfacebookといったSNSを活用した展開は広告業界でも反響を呼びました。



©1976, 2012, SANRIO CO.,LTD.

TOPICS 2 本社移転

1969年より40数年という長きにわたり本社を品川区東五反田に構えておりましたが、老朽化が著しいため2012年2月にJR大崎駅前のゲートシティ大崎イーストタワーへ移転しました。旧本社では各部署が7フロアに分かれておりましたが、新本社では1フロアに全部署が配置され、部署毎に壁やパーティションで区切られていないため今まで以上にコミュニケーションが活発になり、業務の効率が上がっております。

セメダインの 歴史

セメダインネーミング秘話

～皆様に愛されるブランドとなるために～

“セメダイン”は、お陰様で、接着剤の代名詞として、またとても親しみやすいネーミングとして皆様に愛されているブランドの一つとなっています。このブランドの歴史を振り返るとともに、ネーミング秘話を紹介させていただきます。

“セメダイン”の語源

当社は大正12年（1923年）に創業し、接着剤類の製造販売を開始しました。

当社の製品および社名の原点となった“セメダイン”は創業者今村善次郎の命名であります。“セメダイン”の語源は、結合材としての“セメント”と、力の単位を表す“ダイン”とによる造成語で、“強い結合、接着”を意味しています。また、創業当時に市場で隆盛を極めていたイギリス製の“メンダイン”以下の輸入品を市場から“攻め（セメ）”出すという意味から、外国製品駆逐の闘志を込められています。これはまさに創業者の心意気のほどを面白くまた味わい深く伝えようとした命名であります。

今村善次郎はセメダイン開発前には“メンダイン”を輸入販売していました。大正・昭和の初期にアルファベットや英語を多用したパッケージデザインを取り入れたのは、舶来品メンダインの高級イメージや知名度を利用しようと考えたことが上げられます。ちなみに、今でも年配の方の中には“セメンダイン”と“ン”を入れてお話する方がいらっしゃいます。

接着剤という新しいカテゴリーを創出

このネーミングでの大きな功績は接着剤という新カテゴリーを創出したことが上げられます。接着剤という言葉ですが、今村善次郎が“セメダイン”の発売に当たって一般化したと言われていています。当時は慣用語として接着剤とい

● セメダインの名付け親



創業者 今村善次郎

● 昭和初期の主力製品



セメダインCの前身
「セメダインA号」の包装箱



市場の人気を集めた「桜糊」

● ステージ付宣伝カー（昭和28年頃）



言葉はなく、一般には“のり”、産業界などでは“接着材”、あるいは“膠着材”という名称で呼ばれていました。それを“セメダイン”の発売に当たって、“のり”の持つ接着力のイメージよりも、さらに強力な印象を与える適切な呼び名はないものかと思案したあげく、今日の“接着剤”という表現が生まれました。

“接着剤”か“接着材”か

「“接着剤”か“接着材”か」という疑問があります。名付け親である今村善次郎によれば「常識的には“材”の方が正しいのだろうが、当時は文房具屋と同時に薬屋が有力な販売店であったから、薬屋で売るからには“剤”の方がよからうということで接着剤にした」ということであり

ます。おそらく今村善次郎の心の中には、「セメダインは“つける”という効果を持ったもので、世の困った人を助ける薬のようなもの、したがって“数量を売る材”ではなく“効果を売る剤”である」という意思があったと考えられます。

このように“セメダイン”というネーミングには創業者の熱い情熱と最先端のブランド戦略が込められています。また、この“セメダイン”という製品を世の中に広めるべく、さまざまな形で宣伝活動を行ってきました。現在のセメダイン株式会社の社員一同、改めてそのネーミングの意味をかみしめながら、今後もさらにお客様に愛されるブランドに育てていきたいと願っています。

● 昭和30年代の広告



ベンチ



猿と自転車



ゴミ箱

連結財務諸表



● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成24年3月31日現在)	(平成23年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	13,168	12,568
固定資産	4,946	4,623
有形固定資産	3,390	3,146
無形固定資産	636	209
投資その他の資産	919	1,266
繰延資産	0	3
資産合計	18,115	17,195
負債の部		
流動負債	8,016	7,433
固定負債	1,057	1,166
負債合計	9,074	8,600
純資産の部		
株主資本	9,110	8,638
資本金	3,050	3,050
資本剰余金	2,676	2,676
利益剰余金	3,568	3,097
自己株式	△186	△185
その他の包括利益累計額	△216	△181
その他有価証券評価差額金	△58	△44
為替換算調整勘定	△158	△137
新株予約権	61	40
少数株主持分	86	98
純資産合計	9,040	8,595
負債純資産合計	18,115	17,195

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期	前期
	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	21,416	20,361
売上原価	15,843	14,903
売上総利益	5,572	5,457
販売費及び一般管理費	4,845	4,558
営業利益	726	899
営業外収益	108	155
営業外費用	107	95
経常利益	727	959
特別利益	251	—
特別損失	34	162
税金等調整前当期純利益	944	796
法人税、住民税及び事業税	97	154
法人税等調整額	239	124
少数株主損益調整前当期純利益	607	517
少数株主利益	19	32
当期純利益	588	485



■ 会社概要・株式の状況 (平成24年3月31日現在)

■ 会社の概要

商号	セメダイン株式会社 (CEMEDINE CO., LTD.)
本社	〒141-8620 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー
設立	昭和23年4月22日 (創業大正12年11月)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
資本金	30億5,037万5千円
従業員数	260名
主な事業内容	接着剤・シーリング材・粘着材・特殊塗料・ コーティング剤およびその加工品の製造販売 接着および防水等に関する施工および請負
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行 りそな銀行 三菱UFJ信託銀行

■ 取締役および監査役 (平成24年6月22日現在)

代表取締役会長	黒川 靖 生
代表取締役社長	荒井 進
常務取締役	生井 照 雄 生産・物流本部長
常務取締役	松本 有 祐 管理本部長
取締役	成塚 隆 男 営業統括本部長
取締役	猪瀬 一 弘 管理部長・情報統括室長
取締役	岩切 浩 技術本部長
取締役	南 靖 英 経営戦略本部長・海外部長
監査役 (常勤)	高津 正 治
監査役	小澤 徹 夫
監査役	細野 幸 男
監査役	渡辺 政 宏

■ 株式の状況

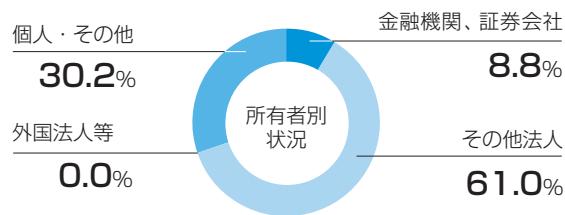
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	15,167,000株
株主数	1,199名

大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社カネカ	4,445	30.45
セメダイン共栄会	1,503	10.29
三菱商事株式会社	1,008	6.90
東レ・ダウコーニング株式会社	563	3.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	507	3.47
株式会社りそな銀行	400	2.74
信越化学工業株式会社	400	2.74
日本ウイリング株式会社	310	2.12
株式会社LIXIL	300	2.05
株式会社丸運	200	1.37

(注) 出資比率については、自己株式(571,731株)を控除して算出しております。

■ 株式の分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
利益配当金 受領株主確定日	3月31日・9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (市場2部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL (http://www.cemedine.co.jp/) (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、右記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

インターネット ホームページ

ホームページで当社の事業活動、株主投資家向け情報などを掲載しております。ぜひご利用ください。

セメダイン

検索

<http://www.cemedine.co.jp/>



本冊子は環境保全のため再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。

株主優待制度の内容

(1) 対象株主

毎年3月31日の最終の株主名簿に記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様。

(2) 優待品

2,000円～3,000円相当の当社商品を贈呈することを基本といたします。

(3) 贈呈時期

毎年、定時株主総会后(6月下旬～7月上旬)に送付する予定であります。

株式に関するお手続きについて

● 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
特別口座から一般口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取請求		
住所・氏名等のご変更		
特別口座の残高照会		
配当金の受領方法の指定(※)	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/
郵便物の発送と返戻に関するご照会		
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問合せ		

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主の皆様は受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
郵便物の発送と返戻に関するご照会	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
支払期間経過後の配当金に関するご照会		
株式事務に関する一般的なお問合せ		
上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

セメダイン株式会社

本社 〒141-8620 東京都品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー
Tel:03-6421-7411